平成27年度　目標管理シート（課別組織目標）

課かい名	フードバレー推進課	課かい長名	高﨑　正

組織目標	熊本県では平成25年3月に「くまもと県南フードバレー構想」を策定され、「6次産業化・農商工連携による地域内生産物等の高付加価値化」等を推進中です。本市においても事業推進のため「フードバレーやつしろ基本戦略構想」を平成26年3月に策定し、県構想と密接に連携して6次産業化、首都圏等との流通拡大等について全庁的に取組むこととしています。 全国有数の農林水産資源を有する本市を含む県南地域の多様な資源・環境を活かして、「高付加価値商品の開発」「新たなビジネスの創出」「農林水産業の所得・雇用の向上」の実現を目指します。特に、今後の国内の人口減少に伴う「食」の需要減少に対応するために、八代港を活用した農林水産物の輸出に取組みます。

今年度取り組む重点施策とその具体的目標等					変更内容	中間レビュー（10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
課重点事業番号	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
フードバレー推進課①	**八代港を活用した農林水産物の輸出促進**	①具体的目標	①現状では、熊本県内の農産物等は福岡空港、及び博多港から輸出されている。これを八代港から輸出できるようにするための条件整備、及び輸出産品の掘り起こしを行うことにより、八代港からの輸出実績を作る。 ②台湾基隆市において八代観光物産フェアを開催することにより、農産物輸出等の基幹となる台湾直行コンテナ航路の誘致活動の一助とする。 ③数値目標として、八代港からの輸出品目5品目、八代観光物産フェアの来場者数1500人とする。	①・輸出パッケージ補助金を新設する。 ・リーファーコンテナ利用補助金を新設する。 ・海外輸出に関する意向調査を実施する。 （くまもと県南FV推進協議会との協働） ・くまもとうまかもん輸出支援協議会や八代地域農産物輸出プロジェクトと連携し、香港や台湾への輸出拡大に取組む。 ・熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会との協働により、香港への晩白柚の輸出に取組む。 ・熊本県立大学との協働により、外国人の好む産物の調査を実施する。 ②・台湾基隆市において「八代フェア（仮称）」を開催する。 ・「フードバレー輸出促進部会」において、八代フェアの内容について検討する。 〔輸出支援のための補助制度の新設〕 ○4月　…輸出パッケージ補助金の新設 リーファーコンテナ利用補助金の新設 〔八代フェアの開催〕 ○4月～6月 … 開催に係る企画内容の検討 ○7月 … 内容コンペ ○8月～1月 … 必要な調整 ○1～2月頃 … 実施 〔フードバレー輸出促進部会の開催〕 ○5月～6月 … 八代観光物産フェアの開催内容の検討 ○7月 … 幹事会、推進本部への提案					①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①輸出産品の掘り起こしができていない。 ②輸出相手国のマーケティング及び輸出条件の整理ができていない。 ③台湾での八代フェアを開催することにより、台湾直行コンテナ航路の誘致の後押しをする。 ④長距離輸送技術の確立が必要である。 ⑤港湾施設の充実が必要である。					②課題・特記事項等	
フードバレー推進課②	**国内販路の拡大**	①具体的目標	本年度新たに契約した流通アドバイザー及び東京、大阪、福岡への派遣職員のネットワークを活用して、中食・外食産業への本市産品の売込みを行ことにより新規成約額3千万円を目指す。	・流通アドバイザーのネットワークを通して中食・外食産業と本市農林水産物のマッチングを行う。 ・流通アドバイザーに同行し、中食・外食企業の訪問を行う。 ・東京、大阪、福岡への派遣職員のネットワークを活用して、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどでの八代フェアの開催を行い、本市農林水産物等のPRを行う。 〔中食・外食産業との交渉〕 ・随時 〔業種別企業リストの作成〕 ○4月～6月　…フードバレー推進協議会員への訪問調査 ○7月～8月　…業種別企業リストの作成 ○通年　…流通アドバイザーとの連携					①具体的目標	
		②課題、特記事項等	①中食・外食産業からの引合いに対応できる体制の整備 ②業種別企業リストの作成					②課題・特記事項等	

課重点業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（4月～9月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（10月～3月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
フードバレー推進課③	**6次産業化・農商工連携の推進** 農林水産部⑤	①具体的目標	本年度新たに契約した6次産業化推進アドバイザーを活用して、全国有数の農林水産資源を活かした6次産業化・農商工連携を推進する。商品開発数5商品を目標とする。	・くまもと県南フードバレー推進協議会員を訪問して、6次産業化・農商工連携等についての聞き取り調査を実施する。 ・聞き取り調査を踏まえ、6次産業化推進アドバイザーを活用して商品開発に取組む。5事業者程度を予定している。 ・流通アドバイザー、東京、大阪、福岡への派遣職員のネットワークを活用して、販路の開拓を行う。 〔業種別企業リストの作成〕 ○4月～6月　…フードバレー推進協議会員への訪問調査 ○7月～8月　…業種別企業リストの作成 〔6次産業化推進アドバイザーとの連携〕 ○随時、本格的には9月～3月 〔販路開拓〕 ○商品が完成次第、随時。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	・6次産業化・農商工連携の事業に取組む事業者の把握ができておらず、調査が必要である。 ・業種別企業リストの整備ができておらず、リストの作成が必要である。 ・商品開発した商品の販路先の確保が必要である。							②課題・特記事項等	